

# 総 会 議 案

日 時 : 令和4年4月26日(火) 午前10時

会 場 : 荻窪地域区民センター2階 第1・2集会室

# 総 会 次 第

1. 開会のことば

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 議事録署名人指名

5. 議 事

第1号議案 令和3年度 事業報告

第2号議案 令和3年度 事業会計収支決算報告

第2号議案 会計監査報告

第3号議案 会則改正

第4号議案 令和4年度 事業計画（案）

第5号議案 令和4年度 収支予算（案）

第6号議案 23期補充委員の紹介

6. 議長退任

7. 閉会のことば

# 目 次

第1号議案	令和3年度 事業報告	1
① 概要		1
② 各部報告	総務部	3
	地域交流部	4
	事業企画部	6
	広報部	9
第2号議案	令和3年度 事業会計収支決算報告	10
第2号議案	会計監査報告	12
第3号議案	会則改正	13
第4号議案	令和4年度 事業計画（案）	14
① 概要		14
② 各部計画（案）		17
第5号議案	令和4年度 収支予算（案）	18
第6号議案	23期補充新委員名簿	20
(参考資料)	委員名簿	21

# 第 1 号 議 案

## 令和 3 年度 事業報告

### ① 概 要

令和 3 年度の事業活動は、新型コロナウイルス感染症の第 4 波（4 月後半から 5 月にかけて）、第 5 波（7 月後半から 9 月にかけて）、そして新年になってオミクロン株による感染者急拡大の第 6 波にみまわれ、協議会が例年開催している主要なイベント（センター祭り、アート展、さいえんす縁日等）は安全対策から開催中止としました。感染拡大の合間をみて開催したのものも、形態を変え工夫を加え実施をいたしました。

一方で、感染防止対策を徹底したうえで比較的少人数の参加者となる講座、講演会、コンサートなどは実施することができました。好評をいただいている講座の継続に加え、新規プログラムも加えた内容となっております。

「防災フォーラム」は、幸い第 6 波直前の 1 2 月に、荻窪地域区民センターにおいて、西荻地域区民センター協議会と協働で開催することができましたが、協議会を構成する町会・自治会、学校関係者、NPO 等との交流の場として重要な「地域懇談会」は、第 6 波の最中の 2 月に開催する予定であることから、次年度に実施することといたしました。

このように活動時期設定が難しい 1 年でしたが、これまで続けてきた「荻窪の記憶」プロジェクトに関しては、冊子入手希望の急増から増刷で対処、本年度の調査対象地域（清水・桃井・今川）に関するパネル展示を郷土博物館分館と当センターで実施、分冊制作準備などを行いました。

これらの事業を実施する協議会委員につきましては、この年度間で辞任 3 名、補充新委員 4 名を加え 1 名の純増となって年度末には 24 名となっております。

以下に、各部の活動状況を報告いたします。

#### 「総務部」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より各種の行事等を中止、延期としました。2 月に開催予定の地域懇談会は、次年度に実施することとしました。

委員向けの館内研修は、3 回の予定を 2 回としました。また、館外研修は、10 月に防災体験施設「そなエリア東京」で見学をしました。

恒例の近隣清掃「クリーン大作戦」は、荻外荘通りの清掃活動を行いました。

住民の集いの地域交流会「こみゅに亭カフェ」は、7月に第2回を、3月に第3回を、定員90名のところ、参加者を20名に制限をして実施しました。

#### 「地域交流部」

10月に、「第43回荻窪センター祭り」を「マルシェ in 荻窪地域区民センター」に名称を変更し、来場者の検温、体調確認、手指消毒のほか、規模縮小、開催時間の短縮など、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で実施しました。「祭りを待っていた！」感があり、僅か2時間半の開催で、700名の来場者があり、新企画のハロウィン撮影会はファミリー参加者に人気を博しました。

11月の荻窪音楽祭との協働事業「第7回地域ふれあいアフタヌーンコンサート」は、来場者を40名に限定して実施しました。また、西田小の「昔遊び体験」には5名の委員が参加しました。

新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言、蔓延防止措置等に鑑み、「第43回アート展」「第28回本天沼集会所まつり」は中止しました。

#### 「事業企画部」

昨年度と同じく、新型コロナウイルス感染症の影響の下での運営となりました。開講に際して換気、検温、簡易パーティション設置等の対策を可能な限り実施した上で、ほぼすべての企画を予定通り行いました。幸い、緊急事態宣言などにより館全体が閉鎖されるような事態もなく、企画数は25（内中止2）と、一昨年度と同程度まで持ち直しました（前年度17、一昨年度27）。一方、累計参加者数1,062は昨年度からやや持ち直したものの（前年度860、一昨年度2,362）、各講座の定員数を半数以下に抑えざるを得なかったこともあり、一昨年度の半数以下となりました。「さいえんす縁日」という参加者数が多い企画が中止になったことも影響しました。

一方で、「荻窪健康サロン」、「ビバ！発酵食」等の協働事業が加わりました。どちらも相手側から働きかけを頂いた企画です。センターカレッジ部の流れをくむ協働事業について、様々なイベントが開催しづらくなっている世相の中、今後同様のケースが増えることも考えられます。

#### 「広報部」

隔月発行の広報紙「わたしのおぎくぼ」を予定通り年6回発行し、発行部数も10,000部から11,000部に増部しました。（期途中から荻窪高校への全校配布を開始）

ホームページの安全性向上のため、通信の暗号化（SSL化）を実施しました。また、講座などの申込について、従来の往復はがきに加え、ホームページからWEBメールでの申し込みが出来るよう対応しました。

「荻窪の記憶Ⅳ～清水・桃井・今川の歴史～」の展示、小冊子の発行などを実施し、「荻窪の記憶」プロジェクトの活動支援を行いました。

## ② 各部報告

### [ 総 務 部 ]

名 称	開 催 日	内 容
総会	4月21日(火)	町会、自治会、学校支援本部、ケア24など参加
会計監査	4月6日(火) 10月19日(火)	令和2年度 決算監査 令和3年度 上半期監査
委員研修	5月25日(火)	情報セキュリティについて 講師：吉川副参事
(館内)	12月21日(火)	「荻窪の記憶」清水、桃井、今川の歴史 講師：松井和男
(館外)	10月12日(火)	「そなエリア東京」 防災体験施設見学
近隣清掃 クリーン大作戦	11月16日(火)	荻外荘通りの清掃作業
地域懇談会	令和4年度実施	町会・自治会、学校支援本部、ケア24、ゆうゆう館、NPO、任意団体など参加予定
地域交流会 「こみゆに亭カフェ」	7月10日(土) 3月5日(土)	地域住民の交流を目的とし、毎回テーマを設定し、交流を深める
役員会・委員会	毎月	毎月開催の役員会及び委員会資料の作成、議事録作成
経理業務	随時	講座・講演会、お祭りなど費用支出の管理、予算執行全体の管理等

[地域交流部] 集団事業

事業名	開催月日	内容
<p>マルシェ in 荻窪地域区民 センター (第43回 おぎくぼ センター祭を 変更)</p>	<p>10月31日(日) 10:00~12:30</p>	<p>10月10日(日) 予定の「第43回荻窪センター祭り」をハロウィンの10月31日(日)に延期し、名称も変更して実施。          &lt;マルシェ&gt;          JAと提携し杉並産野菜の直売(4地域、6生産者)          &lt;委託販売&gt;          ・クッキー (どんまい福祉工房)          ・パン (パン工房 Puku Puku)          ・和菓子 (栄太楼)          ・花 (花やきのした)          &lt;苗木配布&gt;          都および区から提供された苗木150本の配布に際して、「杉並区緑の基金」への募金を呼びかけ、総額19,600円を寄付できた。          &lt;ハロウィン撮影会&gt;          来場者が想定を大幅に超え、手作りディスプレイの前で家族でのたくさんのシャッターチャンスとなった。          1家族3~4名の若い層が来場し、本年度の活動計画にマッチしたものとなった。          3密の回避、お土産対応が今後の課題となった。</p>
<p>第43回 アート展</p>	<p>中止</p>	<p>当初6月に開催予定であったが、緊急事態宣言が延長となり、令和4年1月に延期しての実施を予定した。年明け以降のオミクロン株の爆発的な感染の状況から中止とした。</p>
<p>第28回 本天沼集会所 まつり</p>	<p>中止</p>	<p>令和4年2月27日に開催を予定したが、アート展と同様の理由で中止とした。</p>

[地域交流部] 協働事業

事業名	開催月日	内容・協働先	参加数
<p>第7回 地域ふれあい アフタヌーン コンサート</p>	<p>11月6日(土) 13:30~15:00</p>	<p>&lt;演奏者&gt; 13:30~14:15 ピアノ江口純子&amp;バイオリン吉久亜紀 コラボ演奏 14:20~15:00 都立杉並高校 吹奏楽部</p> <p>第34回荻窪音楽祭と協働し、7回目の自主企画演奏会として実施。 従来のクラシック中心からディズニーやJPOPなども盛り込み、気軽に楽しめる音楽祭をテーマに実施した。</p>	
<p>西田小1年生 「昔遊び体験」</p>	<p>12月11日(土) 9:00~10:30</p>	<p>小学1年生が、あやとり、けん玉、独楽回しなどを体験。 昔の遊びを体験し、楽しんでもらう行事に協議会委員がサポーターとして5名が参加した。</p>	

[事業企画部]

No.	開催月	講座名：講師名・協働先	定員	単位	延べ参加数(人)
			(名)	(回)	
1	4月,5月	初心者のための俳句教室 野崎 海芋 氏	20	4	78
2	5月	◎正しく学ぼう！ラジオ体操 銚立 和子 氏 全国ラジオ体操連盟 ※コロナ感染症拡大のため翌年2月に延期	—	—	—
3	6月	リズム&ストレッチ教室 後藤 鈴香 氏	20	4	78
4	6月19日	荻外荘通りを歩こう～新版・荻窪の記憶発刊記念 松井 和男 氏	15	1	17
5	7月13日	◎講談出前授業 「耳なし芳一」 神田 山緑 氏 講談協会 (会場桃井第二小)	—	1	65
6	7月18日	◎さいえんす縁日 ※コロナ感染症拡大のため中止	—	—	—
7	8月	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング 安藤 操 氏	20	4	69
8	8月	現代の短編を読む(新潮クレストブックより) 生田 美秋 氏	20	4	49
9	8月14日	◎講談鑑賞会 神田 山緑 氏 田辺 凌天 氏 講談協会	30	1	25
10	9,10月	じっくりと読む「おくのほそ道」 林 誠司 氏	20	4	94
11	9月26日	コロナ禍における発展途上国の現状 林 薫 氏	30	1	22
12	10月	いきいき朗読教室 岡 摂子 氏	20	4	74

13	10月16日	トルストイの民話「人は何で生きるか」を 読んでみませんか 杉山 春子 氏	20	1	16
14	10月23日	多肉植物でつくるミニチュアガーデン 吉野 華恵 氏	12	1	12
15	11月7日	災害情報で命を守る 田中 淳 氏	30	1	26
16	11月27日	◎荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター 共催：荻窪保健センター		1	105
17	11月28日	◎秋を楽しむ木の実工作教室 山室 京子 自然観察の会杉並	12	1	12
18	12月	◎背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操 高橋 晃史 氏 背骨コンディショニング協会	20	3	54
19	12月5日	◎防災フォーラム2021 於：荻窪地域区民センター 共催：西荻地域区民センター協議会	—	1	165
20	12月12日	◎荻窪寄席「字幕を使った落語会」 金原亭馬玉 氏、翁家和助 氏 杉並区中途失聴・難聴者の会	30	1	21
21	1月22日	新春講演「天才・手塚治虫との対話から」 加藤 丈夫 氏	30	1	20
22	2月	◎正しく学ぼう！ラジオ体操 銚立 和子 氏 全国ラジオ体操連盟	20	2	34
23	2月10日	◎調理実習「ビバ・発酵食！」 梅山 朋子 氏 すぎなみ栄養と食の会	15	1	11

24	2月19日	◎荻窪にあるネパール人学校（EISJ）を知ろう バット・ビスヌ・パラサド 氏 エベレスト・インターナショナルスクール・ジャパン	30	1	15
25		◎荻窪の記憶④「パネル展示」 展示： 郷土博物館分館 (令和3年12月11日～令和4年1月19日) 荻窪地域区民センター (令和4年2月2日～3月21日)	—	—	—
		合計25回 (◎協働事業13回・学級講座12回)	414	43	1,062

## 〔広報部〕

### 1. 荻窪地域区民センター協議会の広報紙 「わたしのおぎくぼ」の発行

(1) 発行回数 年 6 回 ( A 4 判・4 P・カラー印刷 )

(2) 発行部数 No.3 5 1～3 5 3 各 1 0, 0 0 0 部

No.3 5 4～3 5 6 各 1 1, 0 0 0 部 (荻窪高校全校配布開始)

(3) 配布部数 (令和4年3月時点)

① 区立小学校5校・区立中学校4校・都立高校1校 5, 2 6 1 部

② 町会・自治会回覧配布用 2, 3 8 0 部

③ 区及び区関連施設等配布用(交換便) 1, 2 3 6 部

④ 協議会委員による配布 1, 0 2 2 部

⑤ 常設設置場所・その他配布・ヨビ 1, 1 0 1 部

合計 1 1, 0 0 0 部

(4) 発行日と (メインの記事) ※印は発刊後に延期または中止

① No.3 5 1 6月・7月号 (表紙 アート展※) 5月25日発行

② No.3 5 2 8月・9月号 (表紙 講談鑑賞会・センター祭※) 7月13日発行

③ No.3 5 3 10月・11月号 (表紙 マルシェ in センター) 9月28日発行

④ No.3 5 4 12月・1月号 (表紙 アート展※) 11月30日発行

⑤ No.3 5 5 2月・3月号 (表紙 本天沼集会所まつり※) 1月25日発行

⑥ No.3 5 6 4月・5月号 (表紙 会長挨拶・新年度の行事) 3月15日発行

(5) 編集内容

① 協議会の事業 (講座・講演・イベント等) の開催案内、及び結果報告

② 総会など協議会行事の報告、委員募集、地域情報の掲載

③ 連載ものの掲載 (「近隣の高等学校訪問」、『荻窪の記憶』こぼれ話)

### 2. 「わたしのおぎくぼ」以外の発行物

●「荻窪の記憶IV 清水・桃井・今川の歴史」発刊…荻窪の記憶PJ支援 1,000冊

●三つ折りリーフレット「荻窪地域区民センター協議会のご紹介」増刷 2,000部

### 3. ホームページの運用

・ホームページの安全性向上のためSSL化(http→https)を実施 11月

・講座等の受講者の利便性向上のため、申込を従来の往復はがきに加え、  
ホームページ画面からWEBメールにて申込が出来るように改善 3月

・今年度も「お知らせ」を活用したタイムリーな情報発信に努めた  
お知らせ掲載件数 令和3年度：50件 (令和2年度：42件)

### 4. その他

◆広報部門七館連絡会議開催 (幹事荻窪) 11月10日22名 (外部16名、荻窪6名)

◆年度を通し、広報部員が協議会の全ての行事・事業等取材し、写真撮影を行った

# 第 2 号 議 案

## 令和 3 年度 事業会計収支決算報告

(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 3 1 日まで)

収入決算額	9,502,212
支出決算額	8,722,772
差引残高	779,440

区への返還金	406,544
差引翌年度繰越金	372,896

### I. 収 入

(単位 円)

区分	予算額	決算額	差引差額	差額 (うち補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 区補助金	8,759,000	8,759,000	0	0	0
①委員活動費	3,924,000	3,924,000	0	0	0
②事業費	4,585,000	4,585,000	0	0	0
③事務局運営費	250,000	250,000	0	0	0
2. 諸収入	437,000	192,748	△244,252	0	△244,252
①事業参加費 収入	174,000	114,500	△59,500	0	△59,500
②自動販売機 手数料収入	0	0	0	0	0
③模擬店収入	260,000	40,600	△219,400	0	△219,400
④雑収入	3,000	37,648	34,648	0	34,648
3. 繰越金	550,464	550,464	0	0	0
収入合計	9,746,464	9,502,212	△244,252	0	△244,252

## II. 支出

(単位 円)

	予算額	修正額	修正後 予算額	決算額	差引差額	差額 (うち区 補助金)	差額 (うち自主 財源)
1. 委員活動費	3,924,000		3,924,000	3,556,500	367,500	367,500	0
2. 事業費	5,082,000	0	5,082,000	4,773,277	308,723	39,042	269,681
①学級講座費	521,000	0	521,000	483,757	37,243	2,243	35,000
②集団事業費	1,360,000	△532,340	827,660	778,491	49,169	3,529	45,640
③地域活動事業費	20,000	0	20,000	545	19,455	19,455	0
④懇談会費	230,000	△30,000	200,000	97,129	102,871	0	102,871
⑤広報活動費	1,287,000	112,340	1,399,340	1,379,145	20,195	195	20,000
⑥総会費	40,000	0	40,000	19,970	20,030	30	20,000
⑦保険料	80,000	0	80,000	76,560	3,440	0	3,440
⑧事務費	444,000	0	444,000	414,776	29,224	1,224	28,000
⑨交通・通信費	40,000	0	40,000	39,650	350	350	0
⑩渉外費	30,000	0	30,000	15,604	14,396	3,916	10,480
⑪協働事業費	1,030,000	450,000	1,480,000	1,467,650	12,350	8,100	4,250
3. 事務局運営費	300,000	0	300,000	276,836	23,164	2	23,162
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	29,098	70,902	0	70,902
5. 諸支出金	140,464	0	140,464	87,061	53,403	0	53,403
6. 予備費	200,000	0	200,000	0	200,000	0	200,000
支出合計	9,746,464	0	9,746,464	8,722,772	1,023,692	406,544	617,148

(区への返還金)(翌年度繰越金)

III.残高 (収入-支出)	0	0	0	779,440	779,440	406,544	372,896
-------------------	---	---	---	---------	---------	---------	---------

## 貸借対照表

令和4年3月31日現在 (単位 円)

資産の部		負債の部	
普通預金	779,440	区への返還金	406,544
		負債合計	406,544
		正味財産の部	
		繰越金	550,464
		当期収支差額	△177,568
		正味財産合計	372,896
資産合計	779,440	負債・正味財産 合計	779,440

## 第 2 号 議 案

### 会 計 監 査 報 告

令和4年4月12日(火)

荻窪地域区民センター協議会

会 長 茂木 愛一郎 様

会計監事 伊藤 経江 

会計監事 桑 山 務 

荻窪地域区民センター協議会監査規則に基づき、令和3年度 収支決算について関係帳簿・起票書類を監査したところ、いずれも財務規則に準拠し、適正、正確に処理されていることを認めます。

以 上

# 第 3 号 議 案

## 会則改正

会則改正（案）新旧対照表	
改正前	改正後
第 1 章総則	第 1 章総則
第 8 条 委員の任期は、1 期 2 年とし、2 期を原則とする。 2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間をもって 1 期とする。 3 会の運営上必要な場合は、1 期を限度に延長することができる。ただし会長職にあった委員はこの限りではない。 4 会の運営上必要やむを得ない場合、委員会の承認を得て、任期(2 期)満了後 2 年以上経過した者のうちから、1 期を限度に委員を選出することができる。 5 前条第 4 項にて補充された委員の任期は、委員改選までの残りの期間とする。	第 8 条 委員の任期は、1 期 2 年とし、2 期を原則とする。 2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間をもって 1 期とする。 3 会の運営上必要な場合は、1 期を限度に延長することができる。ただし会長職にあった委員はこの限りではない。 4 会の運営上必要やむを得ない場合、委員会の承認を得て、任期(2 期)満了後 2 年以上経過した者のうちから、1 期を限度に委員を選出することができる。 5 前条第 4 項にて補充された委員の任期は、委員改選までの残りの期間とする。 6 <u>委員の任期は、前各項に定める任期満了となる会計年度の翌年度初めに開催される定時総会の終結の時をもって終了する。</u>
(理由) 荻窪区民センター協議会会則に、任期終了時期を明記する為、会則第 8 条に第 6 項として上記を加える。	

# 第 4 号 議 案

## 令和 4 年度 事業計画 (案)

### ① 概 要

前年度は、何波にも及ぶ新型コロナウイルス感染症拡大に見舞われたため、感染リスク回避を第一に考え、慎重な事業展開とならざるを得ませんでした。新年度もリスク状況を的確に把握しつつ、安全な事業運営に努めて参ります。

協議会の活動方針は引き続き、下記とします。

「地域における『ふれあいと交流』を増進させ、さらに地域課題を解決するため地域で活動する様々な活動団体のネットワーク化を図り、地域の活性化につなげる。」

これらの活動方針に対応して新年度は後に掲載の各部計画（案）の内容で進めていきたいと存じます。

ただこれらを少数の協議会委員で担っていることも事実であり、その負担軽減の工夫を行うとともに、年間を通して適材となる委員増員の努力を続けます。

もうひとつ、令和 5 年度から本格化する荻窪地域区民センターの改修計画に際して、協議会の役割を改めて見つめなおし、運営体制の考え方をまとめて置く必要性を感じ、内部検討会を設けたいと存じます。

以上を前提に、新年度は以下 7 点を特色とした事業展開となります。

なお、今年度は杉並区の区政施行 90 周年にあたり当センターもその記念事業への協力を行います。区の提示した「ファイブストーリーズ」のうち「原水爆禁止署名運動」の展示が行われる予定です。

#### 1. 地域のネットワークづくり：

「地域懇談会」、「防災フォーラム」は、そこでこそ取り上げられるべき重要なテーマを選び、町会など地域団体と一緒に学び、議論し、連携を深める場として実施します。

地域交流会「こみゆに亭」は、食を共に作り楽しむことを通じコミュニティの醸成に少しでも役に立とうというプロジェクトですが、調理室を使った形式が安全に実施できる場合、新年度は一層の工夫を凝らして実施していきます。またテーマを設定し、情報交換などの場となる地域交流会「こみゆに亭カフェ」の形式も継続します。

## 2. 地域発見の機会をつくる：

平成29年度から展開してきた「荻窪の記憶プロジェクト」の対象地域を、新年度は西田・川南・田端ほかとして、われわれの住む地域の歴史、文化について調査を行い、その結果を展示や冊子などで公開します。

また、協議会発足40周年の記念事業として平成30年度に始まった「道の愛称プロジェクト」では、実現した「荻外荘通り」の認知度を高め定着・普及させる取り組みを継続します。

## 3. 地域を盛り上げる「まつり」活動：

従来からの活動を踏まえ、子供たちの遊びと学びにスポットを当て、親子が区民センターに集いたくなる活動に重点を置きます。下記6. の児童向け企画にも生かします。

地域の皆さんとのふれあいと交流の場となる「おぎくぼセンター祭」、「本天沼集会所まつり」、「アート展」の3大イベントに加え、10月末には、昨年好評であった「マルシェ」を組み込んだ「マルシェ&ハロウィン子供まつり」を実施するなど、内容的な充実を目指します。

## 4. 芸術・芸能を中心とした企画：

「講談鑑賞会」、地域の小学生に伝統芸能の講談を紹介する「講談出前授業」、中途失聴・難聴者の皆さんにも楽しんでもらえる字幕付き「荻窪寄席」、荻窪音楽祭と連動した「地域ふれあいコンサート」など、日本文化継承の視点も加え様々な企画を提供します。

## 5. 多彩な講座の提供：

様々な教養講座や多文化共生（国際交流）イベントなど、地域の方々の知的向上心を刺激し、生涯学習の手助けとなるような企画を提供します。

また、健康増進に結びつく「きっかけ（第一歩）」となるように各種の健康講座を開催していきます。

## 6. 児童と若い世代向け企画：

未就学児・小学生の親子連れを主な対象とした「さいえんす縁日」、武蔵野に残る自然観察などの「野外講座」、上記1で述べた「こみゆに亭」などを行い、子育て世代とその子どもたちを通じて地域の活性化を目指します。

## 7. 広報活動の一層の充実：

隔月発行の広報紙「わたしのおぎくぼ」の充実を図り、区関連施設、地域内の区立小中学校9校および関連高等学校の全児童・生徒、町会などへの送付、また委員による諸施設への配布等を通じて、地域に役立つ情報を提供します。

出版物としては、2. の「荻窪の記憶プロジェクト」の総集編と年度末には協議会直近2年間の活動報告を刊行します。

また、ホームページの活用によるタイムリーな情報発信、応募受付システムの運用を図ります。

## ②各部計画（案）

部門	事業・活動	項目	回数	開催予定・単位数
総務部	総務活動	定期総会	1回	4月
		会計監査	2回	4月・10月
		役員会・委員会	24回	毎月
		地域懇談会	1回	11月
		館内研修	3回	随時
		館外研修	1回	9月
		地域交流会「こみゆに亭」	1回	10月
		地域交流会「こみゆに亭カフェ」	3回	8月・12月・2月
		近隣清掃クリーン大作戦	2回	5月・10月
		総務・会計業務全般、センター改修準備		随時
地域交流部	集団事業	おぎくぼセンター祭り	1回	6月
		アート展	1回	9月
		マルシェ&ハロウィン子どもまつり	1回	11月
		本天沼集会所まつり	1回	2月
	協働事業	地域ふれあいコンサート	1回	11月
		あそび市（松溪中学校）	1回	11月
事業企画部	講座・講演	教養・文学講座	6回	14単位
		医療・健康・スポーツ講座	3回	10単位
		アート関連・その他講座	7回	16単位
	協働事業	講座鑑賞会・講座出前授業・荻窪寄席 ラジオ体操・健康講座 野外講座	19回	28単位
		防災イベント・科学イベント 多文化共生（国際交流）イベント 「荻窪の記憶」プロジェクト		冊子発行 パネル展示 （センター・郷土博物館）
広報部	広報活動	広報誌「わたしのおぎくぼ」発行	6回	奇数月発行
		ホームページの運用	随時	受講申込システムの導入
		活動報告書発行		隔年発行
共通活動		七館連絡会	6回	各部1回～2回
		部会	188回	4部×47回
		実行委員会	25回	5実行委員会、各5回

# 第 5 号 議 案

## 令和 4 年度 収支予算 (案)

### I. 収 入

(単位 円)

区分	令和 4 年度 予算額	令和 4 年度 予算額 (うち補助金)	令和 4 年度 予算額 (うち自主財源)	令和 3 年度 予算額	差額
1. 区補助金	8,672,500	8,672,500	0	8,759,000	△86,500
①委員活動費	3,871,500	3,871,500	0	3,924,000	△52,500
②事業費	4,551,000	4,551,000	0	4,585,000	△34,000
③事務局運営費	250,000	250,000	0	250,000	0
2. 諸収入	437,000	0	437,000	437,000	0
①事業参加費収入	174,000	0	174,000	174,000	0
②模擬店収入	260,000	0	260,000	260,000	0
③雑収入	3,000	0	3,000	3,000	0
3. 繰越金	372,896	0	372,896	550,464	△177,568
合計	9,482,396	8,672,500	809,896	9,746,464	△264,068

## Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区分	令和4年度 予算額	令和4年度 予算額 (うち補助金)	令和4年度 予算額 (うち自主財源)	令和3年度 予算額	差額
1. 委員活動費	3,871,500	3,871,500	0	3,924,000	△52,500
2. 事業費	4,970,000	4,551,000	419,000	5,082,000	△ 112,000
①学級講座費	491,000	476,000	15,000	521,000	△30,000
②集団事業費	1,160,000	960,000	200,000	1,360,000	△200,000
③地域活動事業費	10,000	10,000	0	20,000	△10,000
④懇談会費	230,000	110,000	120,000	230,000	0
⑤広報活動費	1,496,000	1,486,000	10,000	1,287,000	209,000
⑥総会費	40,000	20,000	20,000	40,000	0
⑦保険料	80,000	63,000	17,000	80,000	0
⑧事務費	416,000	416,000	0	444,000	△28,000
⑨交通・通信費	40,000	40,000	0	40,000	0
⑩渉外費	30,000	10,000	20,000	30,000	0
⑪協働事業費	977,000	960,000	17,000	1,030,000	△53,000
3. 事務局運営費	250,000	250,000	0	300,000	△50,000
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	100,000	0
5. 諸支出金	140,896	0	140,896	140,464	432
6. 予備費	150,000	0	150,000	200,000	△50,000
合計	9,482,396	8,672,500	809,896	9,746,464	△ 264,068

# 第 6 号 議 案

## 23 期 補充新委員名簿

氏 名	推 薦 団 体
いとう くみこ 伊藤 久美子	地域住民
かわむら ゆうこ 川村 優子	地域住民
きくの かずお 菊野 一雄	地域住民
ひろなか よしお 弘中 義夫	地域住民

(参考資料)

## 委員名簿

令和4年4月26日現在

役職・所属	氏名	期	住所	選出区分
会長	茂木 愛一郎	22期	天 沼	町会
副会長	萬 靖義	22期	荻 窪	地域住民
	惠羅 博	22期	荻 窪	町会
会計監事 (2名)	伊藤 佳江	22期	荻 窪	東京税理士会荻窪支部
	桑山 務	23期	天 沼	東京税理士会荻窪支部
(経理担当) 総務部 (3名)	◎ 大矢 正男	22期	荻 窪	町会
	○ 船津 まさ子	22期	宮 前	町会
	杉原 幸一郎	23期	南荻窪	地域住民
地域交流部 (6名)	◎ 萬 靖義	22期	荻 窪	地域住民
	○ 影山 健次	22期	宮 前	宮前二丁目防災会
	杉浦 和子	22期	荻 窪	地域住民
	上田 昌子	23期	清 水	NPO法人 すぎなみ栄養と食の会
	小野 美和子	23期	南荻窪	民生児童委員協議会
	川村 優子	23期	荻 窪	地域住民
事業企画部 (8名) (センターカ レッジ部を兼務)	◎ 惠羅 博	22期	荻 窪	町会
	○ 本田 良夫	22期	天 沼	一般社団法人 すぎなみ文化協会
	染谷 貞夫	21期	天 沼	地域住民
	香取 真実	23期	本天沼	地域住民
	熊谷 伸成	23期	宮 前	町会
	堀川 秀夫	23期	天 沼	商店会
	菊野 一雄	23期	荻 窪	地域住民
	弘中 義夫	23期	荻 窪	地域住民
広報部 (4名)	◎ 横尾 耕一	21期	荻 窪	町会
	松崎 茂一郎	21期	宮 前	宮前二丁目防災会
	西村 淳一	23期	荻 窪	一般社団法人 すぎなみ文化協会
	伊藤 久美子	23期	南荻窪	地域住民